



編集発行  
羽津北小学校  
PTA広報部  
印 刷  
阿竹印刷工業(株)

第 27 号

## ケシゴムから生まれた見事な芸術

夏休みの八月一  
十一日、たくさん  
の親子が集まり、  
版画教室を開きました。

版画といいまし  
ても、「一般にいって  
木版画やゴム版画  
とは違う、ケシゴ  
ムを使う」  
風変わった  
版画です。

### 年賀状にいかがですか

ケシゴムを、  
カッターナ  
イフで彫り、それ  
を重ねたり、上下  
逆に押したりして、  
図案を作つていき  
ます。もちろん多  
くも達にも手軽に  
できたようでした。

業があり、和氣あいあいとしたふ  
ん圍気の中にも、緊張した表情が  
見られ、みなさん真剣に取り組ん  
でみました。予想していなかった上  
に、すばらしい作品ができ上がり  
ました。最後の批評会で見せていただき  
た中には、「こんな風にもできるのか」と思  
わせる図案もあり、勉強にな

ケシゴムをかけて下さい。」と五、六  
人の方に言われて、この教室を引き受け、本当に良かつたと思  
いました。

に、「先生、  
家でもやり  
たいので、  
老谷洋子)

夏休みも終わりに近い八月一十一日、親子の版画教室が開かれました。老谷先生の御指導のもと、カッターナイフを使って、ケシゴムに絵を書いて、それをナイフで削り、はがき大の紙に版画絵を作りました。小さなゴム片で鮮やかな色を使って描き出す絵はとてもすてきなものでした。低学年の子もなかなか器用で、親の方が教えられるものでした。年賀状につかうと、とても、よろこばれると思います。

(教養部)

はがきを書く時、少しカットが欲  
しかつたり、たくさん出さない年  
賀状で木版画はちよつと…という  
時に使つていただければと思い紹  
介させていただきました。  
さて、教室での風景ですが、細  
かい所をカッターナイフや包丁で  
切るという作業、構図や配色を考  
えながらケシゴムを押すという作



子供の器用さに改めてびっくり





いよいよ始まるぞ！開会式風景

## ホント ようやつたね！

「お田さん、起きて。今日はボクの運動会やに」、朝5時40分子供が起つて、それました。小学生になつて初めての運動会。この日の為にどれだけの時間をかけて練習したのでしょうか。子供は、胸ワクワクさせます。私も弁当を持って出掛けました。どこまでがんばれるかなと楽しみに応援しました。結果はどうであれ最後まで良くがんばったと思います。

個人走で前や横を走っている子をついたり、ひっぱつたりする子がいるそうです。どの子もみな、思いません。

運動会を終えて帰宅した子供が「ボクがんばつたやろ」と満足顔で言いました。

「ボク、ようやつたね」楽しい一日でもあります。疲れただでもありました。

(一年生・親)

## 思い出の ブリッジ

六年 橋本 哲弥



## かけろ羽津北っ子

秋晴れに恵まれた運動会。初めて羽津北小で運動会を経験する子、親、先生、最後の運動会になる六年生にそれぞれの印象を書いて頂きました。

## ボク達一年生

けじ、こんどはがんばるわ。(佐藤 弘臣)

50メートル走で一位をとつたが、おかあさんが「おお」とびっくりしていました。おかあさんが「幼稚園のときより速くなつたね」と言いました。

玉入れがんばつたけど負けちゃつたよ。1103と1188。赤負けちやつた

(寺村 敦子)

ドレミの踊りがじょうかできました。

(伊藤 理恵)

どののびのびとしているんだなあーと思つて見ていましたのでびっくりしました。家族の見ている前で、雄姿を見てもらいたい気持ちからでしょうが、残念な事だと思いました。大した事ではないと言えばそれですが、子供はこれから大きくなるのですから家庭でも気をつけたいものです。

運動会を終えて帰宅した子供が「ボクがんばつたやろ」と満足顔で言いました。

「ボク、ようやつたね」楽しい一日でもあります。疲れただでもありました。

(一年生・親)

「ブリッジ」とうとうきてしまつたブリッジ。もうどうしようもなくなつた。「ピック」二人組が五人組を組んだ。「ピック」下の五人組が肩の肩の上にのつて肩を組んだ。さあ、次はぼくだ。心の中でそう思つた。「ピック」ぼくが、三人組の肩の上にのつた。周りも形を仕上げてきた。「ピック」五人が四人を持ち上げた。まずは無事成功。「ピック」三人が立とうとして立ちかけたとき、ユラツとゆれ、ものすごいびまう。二人組、三人組とふえていつて、五人組になつた時、ブリッジを思い出し、手足がふるえた。

最高十人組のピックミック。ぼくみにしていた。とうとうやる時がきて、はだしになつた。退場門から入つて、組み立て体操がスタートした。父田の見ている前でやる

ときにはながいろいろあつてきれいだとおもいました。わたしはぴんくのはなをつけていつしようとひんくめにありました。

(いとうえみ)

たまいでわたしはいつしうけんめいにありました。

(あたまにたまがあたつたりしま

けんめいなげました。

(いち川ふみ子)

50メートル走で二等になりました。おかあさんが「幼稚園のときより速くなつたね」と言いました。

(寺村 敦子)



本番で見事に開花、組立体操



我が子の雄姿をビデオにおさめて

## 年を感じた運動会



短い脚で懸命にボールコントロール

いた。一秒でも早くかいてやろう  
と思っていた。H先生とS先生は  
このことを知らない。私は一人ほ  
くそえんだ。勝つたと思った。と  
同時に「あの先生、あんなに速く  
かいどるわ。若い先生ね」そうい  
う賞賛の声が頭の中にこだまして

さあ準備が始まる。私は脱兎の「」とくかけ出し、「くさん早」とせかす。一つ目の田をかく。かなりえらい。足がもつれる。半分くらいで腰がいたくなり、ひざがガクガクする。「かわろうか」という

五年一組担任  
古市保美

休日はサロンバスの香りに包まれていた。しかし、そういうのがあつたら何をあつても出かける」とはしていた。

り、準備でほめられたり、顔がいいとほめられたり（ウソ、これが一つもなかつたのが残念）した。はじめての羽津北小の運動会、やや年だなと感じたものの子供たちのがんばる姿がうれしかつた。私はその夜、風呂から出てすぐ腰と背中と足にサロンバスをはつたくつた。

年のせいではない。田代の訓練が足りなかつたのだ。」 と思ふことにした。

本年度、アーティスティック運動部は、運営が、あらわに運動を広めようになりました。

★あいあい始まる 明るい家庭

本部役員の側で選定させて頂いたものですが、選に漏れた中にもすばりしい標語がたくさんあります。以下にそのうちのいくつかを御紹介します。

今 姫 葉 木 正 一

本部役員の側で選定させて頂いたものですが、選に漏れた中にもすばりしい標語がたくさんあります。以下にそのうちのいくつかを御紹介します。

様で、あちらこちらから子供達の元気なあいさつ言葉を耳にする様になつてまいりましたが、まだ一部の方ぎられた子供達の様で、今ひとつ盛り上りに欠けている様と思われます。私達親と

荒木正一

- あいさつで心のキヤツチ
- ボール
- 知らない人あいさつから  
友となり
- あいさつは覚えるのでな  
く使うも
- みんなであいさつ今日も  
さわやか

レーニンの運動の主旨を理解して、あいさつ運動に積極的に参加していくたいと思います。今一度皆様方の御協力を頂ぎ、なお一層あいさつの輪が広がりますよう願っています。

校会長荒木正一

- あいさつで心のキヤツチ
- ボール
- 知らない人あいさつから友となり
- あいさつは覚えるのでなく使うもの
- みんなであいさつ今日もさわやか
- 朝のあいさつみんなの笑顔
- あいさつをすれば、いいともにっこり
- ここにちはの一語で会い人みんなお友達
- 笑顔であいさつ明るい学

**あいさつ運動実施中!**

ナーレをかざる全校生徒のドレミの歌



準備係をやつた。縁の下の力持ちである。しかし、そのわりに、かなり団立つ役でもあった。子供たちはよろこんでやっている。準備ラインはできばきとやる。とが第一である。子供たち全員が仕事をしたくてたまらないという感じであつた。だから仕事をとるど、「なんやあ」という顔をしていた。やる気を感じた。こういうとき、私はとてもうれしい。

私は何事もながつたかのようじゆつくりかきあげた。  
ドレミの歌があわつた。ひざがガクガクするのを感じた。「これは

## 親子ハイキング

## 楽しさに雨も遠慮!?

朝から的小雨で、大丈夫かしらと心配していましたが、ますますの天候で、楽しい一日を過ごす事ができました。

車を使う機会の多い生活の中で、久しぶりに乗った電車の中は、親子や子供達の楽しそうな話し声とうれしそうな笑顔で一杯でした。



緑と池とお弁当



(匿名希望)



正しい登下校は交通安全の第一歩

## 近況紹介

- 松田先生、第41回かいじ国体・ヨット競技に参加。成績の方は「昨年と変わらず」だそうです。昨年の成績? もあ。
- 古市先生、九月二十六日に次女誕生。名まえは智子ちゃんです。おめでとうございます。
- 鈴木先生、十一月十日より育児休暇から復帰される予定です。

供のお弁当の世話をしているお父さん、どの顔も生き生きしていてとても幸せそうでした。

家族で行くハイキングとは違つて普段あまり会えないお田さん方や先生ともいろいろなお話をさせていたたく事もでき、とても充実した一日でした。

集合や最後の「ゴミ拾いなど、テ

キパキと行動する子供達を見ていました。親として、口でいつもあしょね、こうしようねと言つてゐるだけではなく進んでお手本をみせていく親にならなければ子供におしえられ帰つてまいりました。

これからも、このような機会が

ありましたから喜んで出

席させてい

ただきたい

と思つてあ

ります。

多勢の方

々にお世話

いたきました。

(匿名希望)

## ★親子ハイキング

(九月十五日)

養老・子供の国への親子ハイキング。一百名(そのうち大人六十名)の参加者で好評のうちに終えました。

(教養部)

## ★秋の交通安全教室

(十月十一日)

「交通戦争」と言われて久しくなりますが、事態は鎮静化するどころか益々激しくなっています。

安全部ではみだしの教室を開催して、集団下校時の安全について指導するとともに、通学路の点検を行いました。

羽津北校区ではこれまで登下校時の交通事故は、幸いにも経験していません。このような無事故の記録をいつまでも続けていく上で交通安全教室が少しでも役立てばと願っています。(安全部)

## ★学年PTA

(十月二十日~十一月十九日)

今年の学年PTA行事はスボーツに取組もうと考えています。日程は次のとおりです。万障縛合せの上、多数の御参加をお願いします。

## ●親子ゲーム

(十一月六日)

## ●親子ゲーム

(十一月十九日)

## ●ドッジボール

(十一月十四日)

## ●ドッジボール

(十一月五日)

## ●小運動会

(十一月八日)

## ●オリエンテーリング

(十一月八日)

## ★両親学級と講演会

(十一月十六日)

## これまでの行事 これからの行事

## 交通少年団 唯一校の市長表彰

羽津北小交通少年団は、交通安全にに対するこれまでの真剣な取組みが認められて、市長表彰を受けました。市内に小中学校六十一校ある中で唯、一校の受賞です。今後も一層の活躍が期待されます。

★晴天に恵まれた運動会。子供達はそれぞれに頑張りましたが、我が子の応援に勢を出すお父さんお母さんの頑張りも仲々のものでした。来賓席はゴール前ということもあって格好の応援場所。熱心なお父さんお母さんに乗っ取られるうな勢いでした。

## 編集後記

★そんな中でも主役はやはりお田さん。我が子の名を絶叫して激励します。お父さんは写真を撮つたり、ビデオに収めたりはしません。お腹を痛めたか否かの違いでしようか。

★今年のリレー競技には先生方は参加されませんでした。六年生はとつては最後の運動会であり、何かの思い出になればということを取り止めになつたのは理由があつたようですが、このことでも取り入れられたと聞いています。このことでも、「残念だな」と思ったのは編集子一人ではなかつたようでした。